

【飲食物・医薬品などの反応データ】

飲食物などの中にはアルコールが含まれていたり、製造過程などでアルコールが使用されアルコールが微量に含まれているものがあります。

アルコール検知器はアルコール分を測定しますので、飲食物などにも含まれるアルコールにも反応します。

飲食物・医薬品などの反応データは、どのような物でアルコール反応が出るのかを調査を行なったものです。

飲食物によるアルコール数値検出後の運用方法

飲食物に含まれるアルコール分は、微量ですので流水でうがいをして頂き15分以上時間を空けていただきますとアルコール反応は御座いません。

※検証結果は血中アルコール濃度ではなく、**口腔内に残っている物質**に反応した結果です。

※検証条件

センサー種類:電気化学式センサー

検証機器:AC-011・AC-015・AC-016

検出範囲:0.050mg/L～2.000mg/Lもしくは2.500mg/L

(0.049mg/L以下は0.000mg/Lと表示されます。)

(機器により検出範囲は異なります)

《飲食物》

分類	対象物	詳細	反応時間経過					
			直後	1分後	3分後	5分後	10分後	15分後
食品	パン	ヤマザキ ダブルソフト (1/2枚)	●	●	●	●	0.00	
		フジパン本仕込み レーズン (1/2枚)	●	●	●	0.00		
		ヤマザキ薄皮つぶあんパン	●	●	●	0.00		
	味噌汁	あさげ 生味噌	●	●	●	●	0.00	
	キムチ	プチこくうま	●	0.00				
飲料	炭酸飲料	コココーラ クリア	●	●	0.00			
		濃い目のカルピス	●	0.00				
	乳酸飲料	サントリー ヨーグリーナ	●	0.00				
		果実飲料	ソルティライチ	●	0.00			
		サンガリア つぶつぶオレンジ	●	0.00				
	エナジードリンク	モンスターエナジー	●	0.00				
	目覚まし飲料	眠眠打破	●	●	0.00			
	栄養ドリンク	オロナミンC	●	●	0.00			
		エスカップ	●	0.00				
ゼナFoII		●	0.00					

《医薬品類》

分類	対象物	詳細	反応時間経過					
			直後	1分後	3分後	5分後	10分後	15分後
医薬品外	口臭消し	オーラ2 (2プッシュ)	●	●	●	●	0.00	
	口内洗浄液	モンダミン(ペパーミント)	●	—	●	●	●	0.00
		リステリン(クリーンミント)	●	—	●	●	●	0.00
医薬品	うがい薬	イソジン	●	●	●	0.00		
	のどスプレー	アズレン	●	●	●	●	0.00	
管理医療機器	入れ歯安定剤	タフグリッブ ピンクA	●	●	●	●	●	●
		クッションコレクト	●	●	●	●	●	●
		新ライオデント ピンク	●	●	●	●	●	●

※●は反応があったものです。

※—は、センサー部分に滞留したアルコールを処理中である事を表しています。

※反応時間経過につきましては、あくまで目安であって、摂取量などによって異なります。

※原材料、含有成分に「エタノール」「酒精」「洋酒」などの記載がある飲食物および医薬品には反応します。

※タバコなどは煙をセンサー部分に吹き込みますと反応する事もあります。

※記載している対象物は一例で、他にもアルコール反応する物があります。

※随時調査を行い新規追加していく予定です。

◎これらの検証は正常な検知器を使用した検証結果となります。使用状況により結果は異なりますので参考資料としてご利用ください。

●アルコールが含まれる飲食物は主に栄養ドリンク、低カロリー系飲食物(糖アルコール)、入れ歯安定剤、口内洗浄液、液体歯磨き、洋菓子(ケーキやゼリー)、生菓子、醤油、味噌、各種調味料、漬物、塩辛などが有ります。

糖アルコールとは糖質に水素を添加し、科学的に安定させた物で、一般的には工業用に酵素反応などにより生産されています。加熱しても褐変しない性質を持つ事から、加工品に使用されていることが多く飲料水などにも良く使われています。以下の物が糖アルコールと呼ばれる成分です。

エリスリトール、マルチトール、ラクチトール、還元水飴、還元パラチノース、キシリトール、D-ソルビトール、D-マンニトール など

【アルコール検知器使用上のご注意】

飲食物などにアルコール成分が含まれている場合もありますので、より正確な検査結果を得る為に検査の前には**必ず水でうがいをして口内を清潔にし、少し時間を置いてから測定して下さい。**

アルコール検知器は精密機器です。使用環境などにより、正確な測定が出来ない事があります。その場合は場所を変えて測定を行なってください。

センサーは精密機器ですので、ホコリや唾液など異物の付着にはご注意下さい。センサーの汚れがひどくなると、誤反応の原因となります。センサーは消耗品です。使用回数や使用年数に限らず使用していなくても経年劣化をし、正確な測定が出来なくなりますので、定期的なセンサーメンテナンスをお願いします。

また、個人の体調によりケトン体※が高くなった場合でも反応する事が御座います。

※ケトン体とは

糖や脂肪を代謝する際に体内で自然発生する物質で、その物質の種類は非常に多く、代表的なものはアセトンと呼ばれています。また、その多くの物質の総称をケトン体と呼びます。

その多数ある物質の中にはアルコール検知器に反応する可能性があり、お酒を飲んでいなくても何度もアルコール反応がある場合は、ケトン体のある物質に反応している可能性があります。

弊社ではケトン体の一部の物質は検証を行い、測定範囲内でのアルコール反応は出ないことを確認しております。すべての物質は入手困難ではありますが、可能な限り検証を行ってまいりたいと考えております。